

“自転車のまち鹿屋”

Team:本郷百周年

学校:本郷学園

江刈内隼(高1)井上煌平(高1)白石健吾(中2)
小川瑛広(中1)千葉幹太(中1)平野武(中1)

目次: プラン概要	(p.2)
現状・課題	(p.3)
プラン詳細	(p.4)
短期的取組	(p.5)
中・長期的取組	(p.6)
鹿屋のやること	(p.7)
予算・広告費用	(p.8)
シェアサイクル	(p.9)
最後に	(p.10)



テーマ1

地元に戻りたくなる!! 地元じゃなくても住みたくなる!!
まちづくり

～日本一住みたいまち「鹿屋」の未来をデザイン～

プラン: 自転車のまちにする

～プラン概要～

鹿屋女子高等学校に自転車競技部の新設

「総合的な学習の時間」に自転車教育を導入

地域住民と協力、医師による健康維持の啓発

安全教育、産業振興→「自転車といえば鹿屋」

なぜ自転車なのか？ / 現状、課題

- ①令和三年に鹿屋市が「**鹿屋市自転車活用推進計画**」を発表
- ②環境が整っている
全国有数の強豪大学やサイクリングロード、プロチーム（地元と交流している）
- ③世帯自転車保有台数0.75台（全国ワースト3位：H30）
- ④鹿屋市民の死亡率は血管系の病気が多い（右表：注1）



実は**自転車を使い易い街**になっている

しかし「車社会」のままで、**活かしきれていない**

健康増進につながる自転車の街にしていきたい しかも**エコ**

→若年層から認知UPを目指す

	死因順位	効果
がん	1	ほぼ確実
心疾患	2	有効
脳血管疾患	3	有効

（注1）<http://www.city.kanoya.lg.jp/documents/984/minaosihonnpenn.pdf> https://www.city.kanoya.lg.jp/documents/1048/shiryuu_03.pdf
https://epi.ncc.go.jp/can_prev/93/7957.html

プラン詳細：取組について

短期目標 小学校～高校の「**総合的な学習の時間**」に自転車教育を導入



中期目標 鹿屋女子や楠隼などに**自転車部**を設置

さらに**全国から自転車留学生を招く**



長期目標 鹿屋体育大学の自転車競技部、シエルブルー鹿屋から
オリンピックメダリストを出す

→**関係人口UP = 移住人口UP**

知名度UP




短期的な取組

「**総合的な学習の時間**」に自転車教育を導入

参考
: https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/20220426-mxt_kouhou02-2.pdf

地域住民・専門家と共に推進（**社学連携**）

1. 専門家の講演 例)山口大貴 鹿屋体育大学講師(自転車専門)
2. ミニ自転車ゲームを開催
3. 生徒とプロチームとの交流(競技用自転車の試乗体験)
4. 自転車部の特別指導をプロチームに依頼
5. 医療効果の学習(健康寿命など)by医師会、鹿屋体育大教授＝住民参加 

中・長期的な取組

中期

練習：鹿屋体育大学と**合同練習**

競技用自転車は最低限購入

大学生は週6で練習



合同で練習しやすい

住居：鹿屋女子高に自転車留学した生徒は**大学寮を使用**

3年間合計 706,680円

長期

大学、プロチームとの連携を活かし、鹿屋市から自転車オリンピックメダリストを出す



知名度が上がり移住者が増える



関係団体にやっていただくこと

鹿屋市・教育委員会

- ・鹿屋女子高校に自転車部を新設
- ・「総合的な学習の時間」に自転車教育を導入
- ・鹿屋体育大学、プロと関係の構築
- ・日程の調整

鹿屋体育大学

- ・寮の設置
- ・生徒への指導
- ・器具を使用していないときに使用
- ・合同練習

シエルブルー鹿屋

- ・部活の生徒への指導
- ・生徒との交流

予算・広告

予算

競技用自転車の購入費用(数台)

講演料 10万円/回

プロチームに依頼 10万円/回

大学寮(生徒負担)

広告

①鹿屋市HPに記載

②自転車総合情報サイトの

<https://www.cyclesports.jp/>

に広告を掲載

「ベーシックネイティブアド」タイプ

45万円

期間:半永久

参考

: https://www.yaesu-net.co.jp/pdf/ad/WEB/cyclesports.jp_20220802.pdf

シェアサイクル

女性や観光客、通勤をターゲットにした公共交通機関代替りの気軽に乗れる移動手段、観光資源として鹿屋市の交通面で利便性の向上につなげ、人が来やすく、過ごしやすい街。

■シェアサイクルの導入

1日パス:750円/日

1回会員:150円/30分毎

月額会員:1000円/月※一回の利用につき30分まで無料。

延長料金として150円/30分毎

(電動アシスト自転車、ロードバイク、マウンテンバイク、ママチャリ等)の用意

車体への広告掲載

シェアサイクルポートの設置

設置場所(例)

- ・鹿屋市役所
- ・鹿屋航空基地資料館
- ・鹿屋市文化会館
- ・中央公園
- ・鹿屋運動公園
- ・城山公園
- ・荒平天神
- ・串良平和公園
- ・輝北歴史民俗資料館
- ・大谷洞温泉
- ・霧島ヶ丘公園
- ・鹿屋市民族館
- ・荒平物産館「つわぶき」
- ・県民健康プラザ
- ・山寺鉱泉浴場
- ・花岡出張所
- ・高須出張所
- ・高隅出張所
- ・市成出張所
- ・小塚公園
- ・鹿屋みなと公園
- ・串良ふれあいセンター
- ・スーパーマーケット
- ・観光スポット等

最後に

■目標4【観光】 サイクルツーリズムの推進による観光振興と地域活性化

近隣市町と連携し、魅力あるサイクリングコースの設定や、関連するイベントの開催など、交流人口の増加や地域の活性化につなげます。

また、SNSやアプリ等を活用した情報発信にも取り組みます。



交流人口の増加: 自転車のまち”鹿屋”として知名度、競技者の増加



人口増加

